

## 第13課 程度・変化(2) 子供の時の夢

## 程度・変化(2) 子供の時の夢



今年の春地元の大学を卒業して大阪のデザイン会社に就職することが決まった。それで、引っ越しをすることになって、押し入れの中の物を整理していた。奥の方にあった箱のふたを開けると小学校の卒業文集が入っていた。題名は「将来なりたい職業」。私は懐かしくなって、作業を少しばかり休んで読んでみることにした。

それは本当に自分が書いたものかと思うほど現実と違うものだった。もし夢が実現していたら、私はパン屋さんになっていたのだ。思わず笑ってしまった。一般的に子供がその職業にあこがれる理由は単純なことが多い。だから変わるのは当然だ。それに、大きくなるにしたがって、だんだん現実を見るようになるから夢を持ち続けることは難しいのだろう。

男の子のあこがれの職業を調査するとたいていはスポーツ選手が1位か2位になる。しかし、実際にプロの選手になれるのはほんの一部の人だけだ。成長するにつれて自分の適性や限界が分かってくる。女の子の場合は私のように「食べ物屋さん」になりたいという子が多いらしい。でも、社会のことを学ぶにつれて、その大変さが分かってくる。

大人になることは夢がなくなることなのだろうか。子供のころの夢を実現することは難しいかもしれない。でも、大きくなっても心のどこかに夢を持ち続けていきたいものだ。もししたら何年か後にパン屋を目指して頑張っている自分がいるかもしれない。

地元

文集 題名

職業 懐かしい

現実

実現

一般的

あこがれる

単純 当然

調査

適性

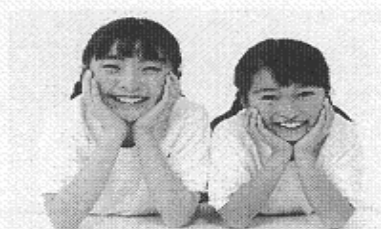
(～て)くる

食べ物屋

学ぶ

心 (～て)いく

目指す



## 第13課 程度・変化(2) 子供の時の夢

## ■ 本文設問

- (1) 筆者の子供のころの夢と実際にすることになった仕事は何ですか。  
 (2) 筆者はなぜ「卒業文集」を読んで笑ってしまったのですか。  
 (3) なぜ子供のころの夢はなかなか実現しませんか。  
 ◇ 筆者はこの後、「卒業文集」をどうすると思いますか。

## ■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	じもと	ぶんしゅう	だいめい	しよくぎょう	げんじつ	どうぜん	てきせい	たものや	こころ
	地元	文集	題名	職業	現実	当然	適性	食べ物屋	心
な形容詞	いっぱんてき	たんじゆん							
	一般的	単純							
い形容詞	なつ								
	懐かしい								
名詞／動詞Ⅲ	じつげん		ちようさ						
	実現(する)		調査(する)						
動詞		まな	めざ						
	あこがれるⅡ	学ぶⅠ	目指すⅠ						
	[補助動詞]★(～て)くる／いく (※変化の用法)								

## ■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 実際に\* 当然 懐かしい 一部\* 現実 】 \* 印は既習

- (1) お世話になったらお礼を言うのは( )だ。  
 (2) まだ( )の学生しかそのことを知らない。  
 (3) 小学生のころが( )。  
 (4) ( )やってみたら、けっこう難しかった。  
 (5) 社会に出ると、( )の厳しさがよく分かる。



## 第13課 程度・変化(2) 子供の時の夢

【 実現 作業\* 調査 学ぶ 目指す あこがれる 】 \* 印は既習

- (1) 子供のころからの夢が( )した。
- (2) 最近の( )によると、大学を卒業しても就職できない人が増えているらしい。
- (3) 高校の時は結婚に( )いたけど、今はそんなにしたいとは思わなくなった。
- (4) プロ野球選手を( )、小さいころから野球を始めた。
- (5) ( )は計画のとおりに進んでいた。
- (6) 大人になったらいろいろと社会のことを( )ことになる。

## ■ 文型・表現

## 「程度・変化」の文型・表現(2)

## (1) 変化を表す基本文型

## 1) 名詞

- ・ 山田さんは大学を卒業して先生になった。

## 2) な形容詞

- ・ そうじをしたので部屋がきれいになった。

## 3) い形容詞

- ・ これからだんだん暑くなる。

## 4) 動詞

1. 1年間日本語を勉強して、新聞が読めるようになった。
2. 彼女とけんかしてからあまり話さなくなった。

## (2) ～てくる／いく → ★L.10 「～てくる／いく」(動作の方向)

## 1) &lt;動作の動詞&gt;の場合

(※「～てきた」で<今までのこと>、「～ていく」で<これからのこと>を表す)

(※た形「きた」で今の時点のことを表す)

1. 今までは話す練習をたくさんしてきましたが、これからは読む練習もしていきます。
2. つらいこともあるけれど、これからもこの仕事を続けていこうと思う。
3. 今まで両親と一緒に暮らしてきたが、就職したら一人で生活していこうと思う。

## 第13課 程度・変化(2) 子供の時の夢

## 2) &lt;変化の動詞&gt;の場合

(※「～てきた」で<変化の開始・途中>、「～ていく」で<変化の進行>を表す)

1. やっと日本の生活にも慣れてきた。
2. だんだん寒くなってきましたね。これからもっと寒くなっていくんですね。
3. この辺もビルやマンションが建って、だんだん緑が少なくなってきた。
4. (キャンプ場で)「あ、火が消えてきた。どうしよう！」

## 3) &lt;感覚・思考の動詞&gt;の場合

(※「～てきた」で<そのような感覚が生まれた>ことを表す。「～ていく」はない)

1. その意味がだんだん分かってきた。
2. (車に乗っている時)「あ、富士山が見えてきた」
3. (パレードが来るのを待っている時)「あ、パレードの音楽が聞こえてきた」
4. いい考えが浮かんできた。
5. 彼の話聞きながら、だんだん腹が立ってきた。

注)「雨が降り始めた」という意味で、「雨が降ってきた」という言い方もできるが、「～てきた」は実際にそこにいる時に使われるのが普通。

## (3) ～につれて・・・、～にしたがって・・・ (※二つのことが一緒に変化する)

1. 暗くなるにつれて、気温も下がってきた。
2. 試験の日が近づくにつれて、だんだん不安になってきた。
3. 嫌なことがあっても、時間がたつにしたがって、少しずつ忘れていくものだ。
4. 年をとるにしたがって、だれでも体が弱くなる。
5. 日本語は初めはやさしいと思っていたが、勉強が進むにつれて、その難しさがだんだん分かってきた。

(4) Xは<動詞普通形>+ほどだ／ほど・・・ (※Xがどの程度か表現する)  
+ほどではない

→ ★L1「Xは<名詞>ほど・・・ない」

→ ★L8「思っていたほど・・・ない」

1. シュミットさんは3か月で驚く／信じられないほど日本語が上手になった。
2. このアトラクションは1時間以上待たなければならないほど人気があるそうだ。
3. 今年の冬は非常に寒かった。あの大きな滝が凍るほどだった。
4. おかしくて、おなか痛くなるほど笑った。

注)上の用法は「くらい」を使っても同じ表現ができる。

5. あの学生は通訳ができるくらい日本語が上手らしい。
6. あそこはとても分かりにくいところにある。地図を見ながら行っても迷うくらいだ。



## 第13課 程度・変化(2) 子供の時の夢

注)しかし、否定文の時には「ほど」だけが使える。

1. ちょっと熱があるけれど、病院に行くほどではない。(＝病院に行くほどひどくない)
2. 日本語はちょっとできますけど、まだ新聞が読めるほどじゃありません。
3. だいぶ涼しくなってきたけれど、まだセーターを着るほどではない。

## (5) &lt;数&gt;+ばかり (※「くらい」「ほど」と同じ)

→ ★L8「<名詞>+ばかり」「<動詞て形>ばかりいる」

1. 1週間ばかり休みをとって旅行することにした。
2. この先、100メートルばかり行くと交番がありますから、そこで聞いてください。  
注)お願いの文で使う場合には、その数だけほしいということをやわらかく伝えることができる。
3. すみませんが、1,000円ばかり貸していただけませんか。
4. そのケーキを3つばかりください。

注)慣用句「少しばかり」

5. この辺で少しばかり休んでいきませんか。

## その他の文型・表現

## ◆ ～たいものだ

(※「実現は難しいだろうけど、なんとかしたい／できたらいいな」という気持ちが入る)

→ ★L9「～ものだ」(真理、当然) ★L11「<動詞た形>ものだ」(過去の習慣)

★L17「<い形容詞>ものだ」

1. そんなに素晴らしいものだったら、ぜひ見たいものですね。
2. 私も宮田先生のように立派な人になりたいものだ。
3. 私もあの夫婦のように老後は船でのんびり世界一周旅行などしてみたいものだ。

## ■ 文型・表現練習

## (1) ～てくる／いく

1. 今まで\_\_\_\_\_使ってきましたが、これからは\_\_\_\_\_。
2. 今までは部長が一人で全部決めてきたけれど、これからは\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ことになりました。
3. 最近ちょっと\_\_\_\_\_みたい。ダイエットしようかな。

## 第13課 程度・変化(2) 子供の時の夢

4. 講義がとてもつまらないので、だんだん\_\_\_\_\_。
5. 日本に来る前にはどうして日本人は\_\_\_\_\_か、よく分からなかったが、今は少し分かってきた。

## (2) ~につれて・・・、~にしたがって・・・

1. 舟に乗って川下りを楽しんだ。上流の方では流れが急で怖かったが、\_\_\_\_\_につれて、流れはゆっくりになった。
2. 試合が\_\_\_\_\_につれて、観客の興奮も高まった。
3. 人口が増加するにしたがって、\_\_\_\_\_。
4. 秋が深まるにしたがって、\_\_\_\_\_。

## (3) &lt;動詞&gt;ほどだ／ほど・・・

1. 山本さんが、外を歩いている人にも\_\_\_\_\_ほど大きな声で泣いていた。
2. セールスマンの仕事は大変らしい。  
買ったばかりの靴が一か月以内に\_\_\_\_\_ほど歩くらしい。
3. 高校のテニスクラブの練習はきびしかった。  
練習の次の日には手が痛くて\_\_\_\_\_ほどだった。

## (4) &lt;動詞&gt;ほどではない

1. けがはたいしたことはありませんでした。\_\_\_\_\_。
2. A「荷物、重そうですね。手伝いましょうか」  
B「いいえ、大丈夫です。ちょっと重いですけど、\_\_\_\_\_」

## (5) &lt;数&gt;+ばかり

1. 「すみませんが、\_\_\_\_\_待っていただけませんか」
2. お店には店員が二人とお客が\_\_\_\_\_いるだけだった。

舟ふね 川下りかわくだ (←川を下る) 上流じょうりゅう (⇔下流) 流れなが (←流れる) 観客かんきゃく  
 興奮こうふん (する) 増加ぞうか (する) (⇔減少) セールスマン たいしたこと



## 第13課 程度・変化(2) 子供の時の夢

## (6) ～たいものだ

1. そんなに美味しいものなら、私もぜひ一度\_\_\_\_\_。
2. 私も機会があれば、ぜひ\_\_\_\_\_。

## ■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

## &lt;トピックの例&gt;

- ・ 『日本の生活』：日本に来る前と来たあとであなたの生活はどのように変わりましたか。
- ・ 『町の変化』：あなたの知っている町はどのように変わってきましたか。これからどう変わっていきますか。
- ・ 『子供のころの夢』：子供のころの夢を今でも持ち続けていますか。

## ■ 関連語の学習 (下線は新出語)

## ◇ 専門的な職業の単語

- ・ 医者、看護婦、弁護士、教師、(大学の) 教授、エンジニア(技師)、デザイナー、美容師、カメラマン、音楽家(作曲家、作詞家)、歌手、ミュージシャン、俳優(男優、女優)、役者
- ・ スポーツ選手  
(野球、サッカー、ラグビー、アメリカンフットボール、バレーボール、バスケットボール、ゴルフ、テニス、水泳、柔道、空手)

## ■ 聴解ミニテスト



◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

答え

1

2

3

4